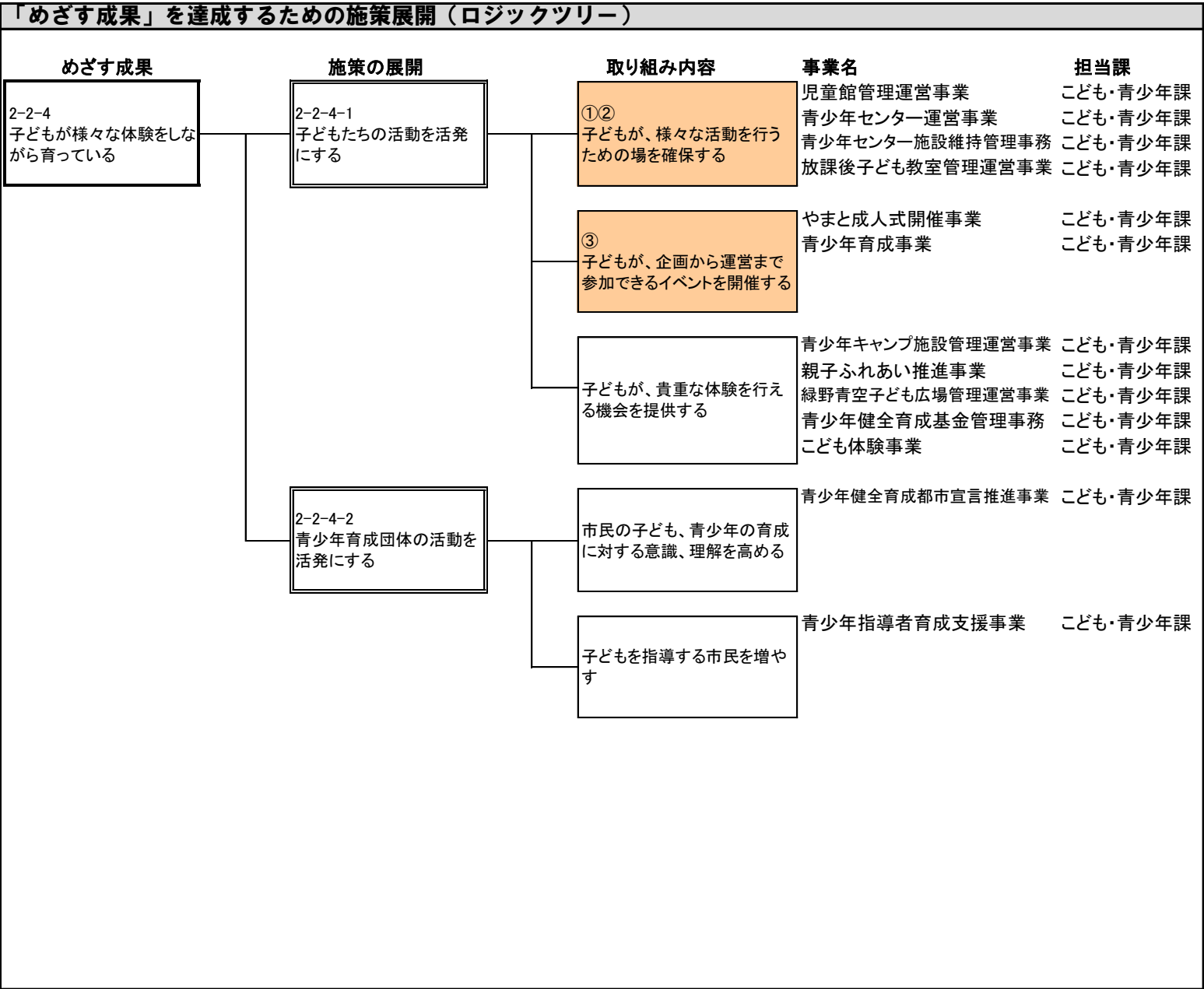


平成27年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
2-2-4 子どもが様々な体験をしながら育っている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	人の健康・子どもが生き生きと育つまち
	個別目標	子どもの生きる力を育む
	めざす成果	子どもが様々な体験をしながら育っている 生活の中で、様々な居場所や体験の場が整い、子どもが豊かな人間性、社会性を身につけています。



成果を計る主な指標	指標の名称	前期基本計画			後期基本計画		
		計画策定時 (H20)	最終目標値 (H25)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)
	① 放課後子ども教室参加率			7.7%	6.7%	9.0%	10.0%
	② 児童館の1日あたりの平均利用者数（全22館）	502人	506人	442人	473人	450人	450人
	③ 中高生ボランティア参加者数	33人 (夏季のみ)	53人 (夏季のみ)	110人	83人	120人	125人

所 管 部	こども部	
平成26年度の 取り組み内容	【子どもたちの活動を活発にする】 ・各事業の実施にあたって、参加する子どもたちが企画、運営等を自主的に実施するとともに、振り返りを通し参加した子どもたちの健全育成を図りました。 ・こども体験の実施にあたっては、公募による青少年を中心にした実行委員会に事業を委託することで、子どもたちが主体的な運営を行っており、「青少年健全育成大会」において、事業内容などを発表するとともに、発表で使用した資料を市内小学校に掲示しました。 ・やまと成人式の開催にあたっても、こども体験事業同様に実行委員会による企画、運営を行うことで、独創的な式となり、新成人式研究会（文科省後援）が主催する成人式大賞において「優秀賞」を受賞しました。 【青少年育成団体の活動を活発にする】 ・青少年健全育成大会において青少年健全育成に尽力された市民を表彰するとともに、小学5年生、中学2年生、高校2年生を対象にした作文を募集し表彰するなど、市域全体で青少年育成の気運を醸成しました。	
構成事業に対する考え方 （事業の量及び実施手法）	・放課後子ども教室管理運営事業については、放課後児童を対象とした他の事業（放課後児童クラブ、放課後寺子屋やまと）との連携手法を検討する必要があります。 ・連携手法の検討にあたっては、各事業の主旨や目的に留意しつつ、参加児童が参加しやすく、保護者が安心して参加を促せる体制を整備する必要があります。	
今後の展開方針	注）例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。	
新規事業の立案		（該当する事務事業）
既存事業の拡充		（該当する事務事業）
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化	放課後児童を対象とした他の事業との連携手法について検討します。	（該当する事務事業） 放課後子ども教室管理運営事業
その他見直し		（該当する事務事業）